



ゆたか福祉会キャラクター  
ゆたかめくとみらいちゃん



# 障害者の ゆたかな未来をめざして



「よい(良い/酔い)  
こいのぼり」  
きょうどう制作  
ゆたか作業所  
生活介護  
デイのみんな  
※紹介が11ページに  
あります。

## CONTENTS

- ▶ 障害者の働く権利が問われている消費税更正請求 No.3 ..... P2 ~ 3
- ▶ コロナの中でも工夫して ..... P4
- ▶ 2020年度新入職員紹介 ..... P6 ~ 8

2020年5月10日 毎月1回10日発行 一部100円(法人会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます)

発行 / 社会福祉法人ゆたか福祉会 〒457-0852 名古屋市南区泉楽通四丁目5番地3  
TEL 052-698-7356 FAX 052-698-7358 <http://www.yutakahonbu.com/>



愛知県ファミリー・  
ブランドリー・マーク

ゆたか福祉会

検索

# 障害者の働く権利が問われている消費税更正請求

NO.3

4月号に続き消費税更正請求について3回目(最終回)の連載です。ちょうどこの記事の準備をしている時に、私達が再調査の申請を行った結果について、決定通知が送られてきました。予想はしていたものの私達の主張は認められず、4月27日にはこの決定を不服として、国税不服審判所に審査請求を行いました。国税不服審判の詳細については、また別の機会にご報告する予定です。今回は、もう一度税務署の主張の不当性について、整理をしておきたいと思えます。

## 私達が5年前にさかのぼって、消費税の更正請求(還付請求)をした理由。

連載第1回目で報告したように、私達が昨年5月に行った更正請求は、5年前に納付した消費税額の修正をして、差額の還付を求める内容でした。(それ以前は時効が成立し請求できない為)

修正を求めたのは、各作業所が障害のある仲間たちに支給している「工賃」を、消費税の仕入控除の対象にしてほしいというものでした。5年前の申告は控除対象にしていなかったため、その結果消費税を多く納付していたのです。私達がさかのぼって請求した理由は「工賃」についての消費税の修正なので、認められて差額分の税が還付されれば、その金額を仲間たち本人に返すことを目的としていました。

## 仲間たちの「工賃」の扱いが争点となっている。

5月に行った私達の更正請求に対して、このことを認めなかった熱田税務署の通知書に記載されていた理由は以下の通りです。今回は、できるだけ通知書の原文を引用しながら解説をします。

原文より

貴法人は…工賃について、当課税期間の課税仕入れに係る支払い対価の額に該当するとして更正の請求をしています。(解説Ⅱ あなたの法人は、工賃を課税仕入れにあたるとして修正を求めています。)

しかしながら。貴法人の行う本件各事業のうち、就労継続支援B型事業については、通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難であ

る者に対して行う就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を行うものであり、生活介護事業については、…(解説Ⅱ線で強調してある文章は、障害者総合支援法の条文を引用している箇所…就労継続支援B型の事業の説明)

そして、結論付けとして

本件各事業は、…上記の各目的に従って本件利用者に対し様々なサービスを提供するとともに、サービスの一環である生産活動の機会の提供を行い、当該活動に係る事業の収入から当該活動に係る必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支払うことが認められます。

以上のことから、貴法人が本件利用者に支払った本件工賃は、本件利用者から役務の提供を受けたことによる対価とは認めら

れず、消費税上の課税取引に該当しないため当該更正請求について、その更正をすべき理由があるとは認められません。

以上の通知書(原文)の要点を改めて整理すると  
 ①ゆたか福祉社会は、仲間たちに支払った工賃を課税仕入れとして扱い、消費税額の再計算するよう求めている。

②ゆたか福祉社会が行っている事業の内「就労継続支援B型事業」は障害者総合支援法に基づき、一般の会社などで働くことが困難な人たちに、就労の機会、生産活動の機会、その他の訓練や支援を行っている事業であり、それらの機会の提供や支援を福祉サービスとして行い、そのサービスの一環として行っている生産活動では、国の指針に従って工賃を支払っていることを認める。

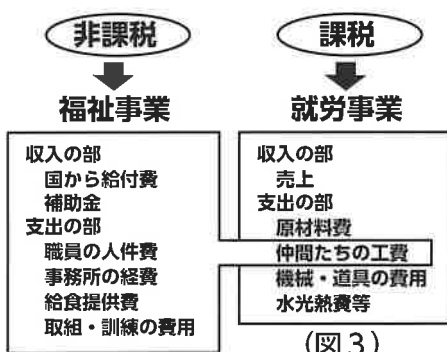
③但し、就労の機会の提供、生産活動の機会の提供は福祉サービスの範囲で行っている活動の為、利用者(仲間たち)の工賃は「役務の提供」に対する対価としては認めることができない。したがって消費税上の課税取引ではないから請求は退ける。…という内容です。

## 福祉事業と就労事業の区別を無視した税務署の主張

前回4月の記事で解説したように、社会福祉事業全般は消費税非課税の事業です。但し

就労系の事業は特例で課税の事業となっております。その課税の仕組みは「福祉事業」と「就労事業」を会計上分けて処理し、「就労事業」のみを消費税課税の対象としています。税務署の主張の誤りは「生産活動の機会の提供が福祉サービスの一環の活動」だととして、売上には消費税を掛けておきながら、仲間たちの工賃の部分だけを抜き出して課税取引ではないと主張していることです。4月に掲載した図を加工したものを載せていますので、見れば理解して頂けると思います。

(図3参照)



## 仲間たちの仕事は社会の役に立っていないのか?

もうひとつ税務署の主張で理解できないのは、仲間たちが行っている仕事を「役務の提供」ではないと言い切っていることです。「役務の提供」とは具体的に何を指すのか?消費税に關する国税庁のホームページでは次の通り解説しています。

### 「No.6153 役務の提供の具体例」として

有償で行われる取引であれば、商品の販売や資産の貸付けだけでなく、役務つまりサービスの提供も消費税の課税対象になります。この場合のサービスの提供とは、土木工事、加工、修繕、清掃、クリーニング、運送、通信、保管、印刷、広告、仲介、興行、宿泊、飲食、技術援助、情報の提供、便益、出演、著述など、サービスと考えられるものすべてについて対価を得て行うことをいいます。

我々関係者であれば、仲間たちの仕事は「役務の提供」以外にないと、誰もが否定しない内容です。

請願署名に取り組んだ仲間の自治会、また仲間たち自身が一番憤りを感じていたのは、このことについてなのです。この問題は税の問題ではあるが「仲間たちの働く権利が問われている」ということを、改めてお伝えしたいと思います。現在、論戦の場は「国税不服審判所」に移っています。今後も経過や我々の取組など、皆さんに発信をして行く予定にしています。引続きのご支援ご協力をお願いします。

# 「コロナの中でも 工夫して 短い時間でリフレッシュ」

## 短い時間でリフレッシュ

リサイクルみなみ作業所では、ストックヤードがいっぱいになってしまわないよう、日々、工場でペットボトルや紙パックの資源化作業に取り組んでいます。そして毎年春には、利用者の皆さんが「ホッ」とひと時、春の訪れを感じる取り組みとして、大江川緑地公園でのお花見を行っています。

今年は新型コロナウイルスの感染が心配されるため、手洗いと消毒を行い、密集・密接を避けながら、短時間でウォーキングなどの運動をして過ごしました。

桜を眺めながら、少し足腰の衰えを感じる利用者さんも参加してペースを考えつつ、程よく体を動かす事ができました。作業中は、異物除去やキャブ取りを行う姿が印象的な利用者の皆さんも、ボール蹴りなどでいつもとは違ったコミュニケーションをとって交流し、楽しそつでした。短い時間でしたが、暖かな日差しのもと良い気分転換になり、明るい表情で作業所へ戻ることができました。



リサイクルみなみ作業所 大野歌織

## ホームでの楽しみづくり

3月上旬、名古屋市から南区のデイサービスは、2週間の休業要請がありました。高齢の利用者が住むグループホームでは、外出や外部からのボランティアさんやマッサージさんを招くことも難しくなりました。また日頃、顔を出してくださるご家族様も遠慮をされ、お客様もほとんど無くなってしまいました。

例年この時期は、ボランティアさんと一緒に大江川緑地公園に花見に出かけたり、知多方面へ行楽に行ったりしていましたが、すべて中止となりました。そこで3密にならないように、常に部屋の換気を行いながら、ホームにいても楽しめることを考えてみました。

その一つは、異動する職員の送別会です。夕食時の手作りお弁当とノンアルコールビールを用意してスタート。利用者様は「シユワシユワで苦いな」と言われながらビールを楽しまれたり、立ち上がって美声を披露される方も見えました。自然と手拍子が始まり、利用者様とスタッフで過ごす和やかに楽しいひと時でした。

二つ目は、外食や買い物など人の出入りがあるようなところは避けながら、桜が満開となった公園を少人数でのんびり過ごすことです。春の自然な風にあたり、リフレッシュすることができました。これ以外にもベランダでのティータイムや体操、全員での食事づくりなども取り組みました。ある男性の利用者様は「歌手になりたい」と話され、石原裕次郎の歌を毎日聴かせてくださいます。皆さんの思いを大切に、こんな時期だからこそできることを実現したいと思います。

グループホーム玉南の家 岡山加代子





# 学びは続くよどこまでも

## はじめに

2月下旬以降、急速に広がった新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちに様々な影響を及ぼしました。

日常の事業運営はもちろんです、「3密」にあたる研修も相次いで延期・中止を余儀なくされました。このような中で、工夫しながら行った取り組みについて紹介します。

## 2019年度 スーパーバイザー打ち合わせ

3月初旬に予定されていた2019年度正規採用職員「まとめ研修」は、事前レポートの配布まで進んでいた中で、延期となりました。

このような中で、スーパーバイザーの打ち合わせを4月中旬に行いました。参加者は4名でしたが、「3密」を避けるため、会場を広い食堂に変更しての開催でした。この中で、スーパーバイザー自身の振り返りを5月中にまとめ、次年度スーパーバイザーにつなげていくことを確認しました。

当日は、互いの事業所での感染対策の状況交

流も行いました。「事業所に籠ってばかりは不安」と久しぶりに顔を合わせ、喜び合う皆さんの姿が印象的でした。

## 2020年度 援助担当者会議

この担当者会議は、配属先の援助担当者と法人研修部担当者が集い、人材育成の課題共有や役割の確認を行う機会として位置付けています。研修の延期も含め、迎え入れる事業所も「期待・不安」を抱きつつのスタートとなりました。今回は、例年より1ヶ月遅い4月下旬に、オンライン会議として開催しました。

参加者同士でOJTの進め方や、3ヶ月間の「活動記録」の活用の仕方などが交流されました。「進め方がつかめずに緊張していたけど、この会議で見通しができた」と明るい表情で、「退出」した援助担当者の方も見えました。

## 職員集会

4月の第1土曜日に開催する職員集会が中止となり、「辞令交付」は各職場で行って頂くことにしました。このような中で、3月の所長会

議の席上で「こういう時だからこそ、法人からの発信が必要ではないか」という意見が出されました。

年度初めの節目は大事であること、何よりも「理事長の言葉を届けたい」と思い、初めて理事長挨拶をビデオ撮影し、各事業所に配信することにしました。理事長の元気な姿とともに、より内容が伝わりやすいようテロップとBGMも付けました。ここでは、ゆたか作業所吉田所長の力が発揮されました。

各職場からは、「なかなか参加できない短時間勤務の職員も、理事長挨拶と一緒に聴くことができた」「職員が見守る中、辞令交付を行い、先輩職員からのメッセージも添えた」「なかなか良かった。期待以上だった」という所長の声が聞かれました。

直接会って話すことが、短時間でも不安と戸惑いを少なくしたり、人とのつながりや、ともに育つ姿を共有することが、このようなときからこそ、励みになることを実感した取り組みでした。オンラインも上手に活用できたと思います。

研修部 丸山京子

## 2020年度 正規採用職員紹介



なるみ作業所 <sup>うしだ まりえ</sup> 牛田 万里絵

趣味・好きなこと  
テレビを見る事、ショッピング

つゆはし日曜学校に学生ボランティアとして参加していたことがきっかけで、ゆたか福祉会への入職を志しました。採用実習では3つの事業所にお世話になりましたが、どの事業所も、利用者も職員も皆が生き生きと楽しそうにしているのが印象的で、「ここで働きたい!」と強く感じました。

大学で福祉を専門的に学んでおらず、知識不足で不安なことも多々ありますが、自分にできることを精一杯頑張っていきたいと思います!

今年度も13名の方が、正規採用職員として新たなスタートをしました。例年4月に開催する職員集会が中止の為、理事長挨拶はビデオ配信され、辞令交付も各職場でとなりました。

「ピンチをチャンスに」しながら、一緒に頑張っていきましょう!



ゆたか希望の家 <sup>ふくだ あすか</sup> 福田 明日風

趣味・好きなこと  
吹奏楽、ドラマ鑑賞

私は、大学時代の実習やアルバイトを通して、どのような環境であってもその人らしく暮らせるような支援がしたいと考えるようになりました。会社説明会に参加した際、自立を目指した支援をしているというお話が印象に残り、ゆたか福祉会へ入職を決めました。

今後、先輩職員方の技術を吸収し、なかまのために動ける職員を目指していきたいと思っています。自分なりに精一杯努力していきますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



ゆたか希望の家 <sup>はやかわ はるか</sup> 早川 遥

趣味・好きなこと  
音楽鑑賞、舞台鑑賞、手話

大学4年生の就職活動中に、ゆたか福祉会と出会いました。5日間の実習では、職員さんが丁寧に仲間とコミュニケーションをとりながら、仲間一人ひとりの意思を尊重した支援が行われていると実感し、「ここで働きたい」と思い入職しました。

経験不足で分からないことも多々ありますが、早く仕事を覚え、仲間の当たり前の「生きること」を豊かにし、充実した生活を支える一員になれるよう努力していこうと思います。



ゆたか生活支援事業所 <sup>えびはら ひな</sup> なるお 海老原 陽奈

趣味・好きなこと  
古着、音楽フェスに行くこと

「ゆたか通勤寮で働いてみたい」という思いで入職を決め、リサイクル港作業所でのパート勤務を経て、今年度正規職員になりました。この1年、たくさんの事を教わる中で、理想とし、尊敬できる女性の仲間に出会いました。

これからは住まいの場で、仲間が自分らしく生活していけるサポートを、誠実に行っていきたいです。なるおの仲間・職員の皆さん、これからが本当に楽しみです。たくさんのご指導よろしくお願い致します。



ふれあい共同作業所 <sup>うえの みか</sup> 上野 美香

趣味・好きなこと  
日帰り旅行、ドライブ

福祉の仕事に携わらせて頂くようになって、9年が経過しました。振り返ってみますと、とてもやりがいがあり楽しい日々でした。

ゆたか福祉会に入職後3年間、ふれあい共同作業所で働かせて頂きました。仲間の笑顔や、働く姿に元気を頂いております。この4月から、正規採用職員として一からスタートさせて頂き、学ばせて頂きたく、改めて身の引き締まる思いです。

これからも、仲間と共に笑顔を絶やさず、良き生活支援員になれたらと思います。

question

趣味・好きなことはなんですか？



ゆたか生活支援事業所 やまうち まゆみ  
あつた **山内 麻友美**

趣味・好きなこと  
クラリネット、ピアノ、柔道

大学時代に進路に迷っていた時、先生からゆたか福祉会を紹介してもらいました。見学させて頂き、「もっと生活の面や、一人ひとりを見たい」と思いました。そして就職前の実習で、現在所属している「事業所あつた」に行かせて頂いたときに「働きたい」と思いました。

入社してまだ仲間との関わりも、生活の流れも覚えられていないところが多く、今は覚えるのに必死です。出来るだけ覚えて、仲間との関わりを大切にしていきたいです。



ゆたか生活支援事業所 ほそえ あつし  
なるお **細江 篤史**

趣味・好きなこと  
動画鑑賞、走ること、同年代の芸能人の応援

私は誠意をもって、仲間との関わり合いを目指していきたく思います。職員だからと高圧的な姿勢をとっては自然な関わり合いは出来ず、良好な関係性を築くことが出来ないと思います。

上からの立場で関わり合いをするのではなく、横の立場から関係性を築き、お互いが助け合えるようにしていきたいとします。そんな関係性を築くためには、先輩職員や仲間の助言を頂くとしますので、その時はよろしくお願ひします。



ワークセンターフレンズ星崎 な が た み か  
**永田 美佳**

趣味・好きなこと  
音楽を聴きながら読書を行うこと

入社を決意したきっかけは、一緒に働く障がいのある人たちに対して「仲間たち」と呼び、「共に働き、協力してものを作り上げる仲間である」という考えに共感をしたことです。

また法人で働くにあたり、人と人との関わりの中で、「相手が何を感じているのか」「何を考えているのか」といった共感する力を養うだけではなく、自分はどうに対応すべきかどうかを学び知り、互いに寄り添える環境作りに貢献していきたいとします。



ゆたか生活支援事業所 さとう みや  
かさでら **佐藤 美也**

趣味・好きなこと  
音楽を聴くこと

私がゆたか福祉会に入社したきっかけは、施設を利用している仲間だけでなく、職員のこともしっかりと考えていると感じたからです。働くうえで、職員を大切にしている職場は大きな支えにもなると考えます。

覚える仕事が多くて、今は不安も大きいです。周りの人たちの力を借りながら、私ができることを一生懸命にやって、役に立ちたいと思っています。そして、福祉の仕事のやり甲斐と魅力を見つけていきたいと思っています。



グループハウスなぐら いわさき まこと  
**岩崎 誠**

趣味・好きなこと  
ドライブ、カラオケ

元々、福祉とは関係ない職場で働いていましたが、名古屋で仲間のみなさんの送迎を行うなど様々なご縁があり、ゆたか福祉会に入社しました。

福祉村のグループハウスなぐらに配属になり、慣れない街での新生活です。期待や不安などたくさんの思いが混在していますが、みんなから頼られる職員を目標に、頑張っていきたいと思っています。



ゆたか生活支援事業所 こじま ちあき  
尾張 **小島 千秋**

趣味・好きなこと  
ドライブ、神社仏閣巡り、カフェ巡り

『どこか抜けている、お人好し』私は、自分をこう表現しています。約30年が経ち、再び縁あってゆたか福祉会で働くことになりました。私の原点であるグループホームで…。

「どこ見て、働いているの!」「仲間が教えてくれるから」この言葉、若かりし頃にも、そして今も先輩職員方からの教えの言葉です。何歳になっても奥深い言葉です。

『どこか抜けている』私ですから、心にとめてボチボチ頑張ります。



ほそだ ゆうすけ  
**デイサービス宝南 細田 裕介**

趣味・好きなこと  
 ライブ鑑賞。ライブが大好きでよく見に行っています。

私がゆたか福祉会に入職したきっかけは、成人式の日グループホームに入所している祖母に会いに行ったことです。その時に「就職先を探している」と伝え、**「是非うちで…」**と言われ、デイサービスで働かせて頂くことになりました。

伯母が「ふれあい共同作業所」にいた事もあり、小さい頃からゆたか福祉会と関わらせて頂いております。正職として一生懸命頑張り、「スキルアップができればいいな」と思っております。そして働き始めた頃の気持ちを、これからも忘れずにいたいと思います。



やまぐち さくら  
**グループハウスなぐら 山口 咲良**

趣味・好きなこと  
 歌を聞くこと歌うこと、体を動かすこと

大学では介護福祉を学んでいました。介護実習などで障害者の方と出会い、ふれあううちに障害者支援の仕事の魅力を知り、この仕事を目指すようになりました。

大学内の企業説明会でゆたか福祉会を知り、「ここで働きたい」と思いました。今年度から福祉村で働くことになり、まだまだわからないことばかりですが、一生懸命頑張ります。

2020年度  
**正規採用職員研修スーパーバイザー紹介**



はっとり まゆな  
**つゆはし作業所 服部 麻由奈**

趣味・好きなこと  
 手作りマスクを作ること！世界に一つだけのマスクを作ってます！！

つゆはし作業所に配属になってから早10年…。「今日も、一人でも多くのなかまと大笑いするぞ！！」という思いで、毎日自宅を出ています。

私生活では二児の母であり、仕事のあとはゆっくり…というわけにはいかず、毎日朝から寝るまで常に動き回っています（笑）

今日も、「服部さん！！」と、なかまの皆さんが笑顔で声をかけて下さることが、私の元気の源です！！



いながき しずか  
**ゆたか作業所 稲垣 静佳**

趣味・好きなこと  
 ポーツとすること

今年で入職26年目。身障デイサービス、グループホーム、相談を経て、現在のゆたか作業所で働いて5年目になります。

特技はどこでも眠れる事。最近は、通勤時に車の中で、昔一生懸命練習していた（中高の6年間、吹奏楽部でした）クラシックの曲を大音量で聞いて、ストレスを発散させています。

皆さんと活動を一緒にさせていただくことで、私自身、学び直しが出来ればと思っています。よろしくお願い致します。

**新所長紹介**



ゆたか生活支援事業所かさでら  
 はらだ けいこ  
**所長 原田 恵子**

入職して6年が過ぎました。投げ出したいくなる時や途方に暮れた時、判断が必要な場面では、いつも共感し合える「仲間」の存在に支えていただきました。

所長は判断を求められる立場にあると思います。分かって出来て動けるのか…。心配は尽きませんが、迷った際には羅針盤となる「理念」に引き寄せて相談します。

何事も挑戦する前から“出来ない”という事は、私らしさに反するので、自身が成長する過程と信じて進みたいのです。



あずま りょう  
**ゆたか生活支援事業所あつた 東 諒**

趣味・好きなこと  
 安くできる所でのゴルフ、友達で集まって桃鉄！

ゆたかに入職して6年目。今でも入職した時と同じ「ゆたか生活支援事業所あつた」で勤務しています。今回、「スーパーバイザーにならないか」というお誘いがあり、まだ経験の浅い自分に務まるのだろうか不安な気持ちがありました。

前年度の主任研修では、スーパービジョンについて学ぶ事が多くありました。今回このような機会も頂いたので、「少しでも新入職員のお力になれば」と思い引き受けました。私も入職当時は思い出しながら、楽しく新入職員さんと学んでいけたらと思います。



## 新副所長紹介



第2 ゆたか希望の家  
副所長 たけした ふみと 竹下 文人

私は、福祉村のある設楽町の出身です。2002年の4月にアルバイトで入職してから18年が経ち、すっかり古株の職員になりました。

現在、コロナ禍で大変な時世になっていますが、第2 ゆたか希望の家は、利用者の皆さんが元気に楽しく安心して生活出来る施設であり、職員が働きやすい職場であり続けなくてはなりません。

若い世代の方々と一緒に、健康第一で頑張っていきたいと思っています。



みのり共同作業所  
副所長 かわむら としひろ 河村 聡

みのり共同作業所に勤務し、8年目となりました。“副所長”という大役に任命された時、正直「自分に務まるのか…」と不安な気持ちも抱きましたが、それ以上に己を成長させるチャンスだと感じ、引き受けさせて頂きました。

今後は伝統ある作業所を一層、地域に根付かせていくため、笑顔と挨拶を大切に臨んでいきたいです。そして逞しい仲間、職員に助けられながら、自分らしさを存分に生かしていけたらと思います。



障害者相談支援センターみどり  
副所長 やまうち よしみ 山内 良美

入職して14年が経ち、相談員になり5年目を迎えました。相談業務の難しさを感じつつも、先輩相談員に支えられながら、地域の相談員として、たくさんの人とのつながりができ、日々学ばせていただいております。

この度、副所長として法人内での役割も担うことになりました。一から勉強していくことも多くありますが、自分の立場を自覚し、常に自己研鑽しながら、法人職員として地域に貢献できる管理職を目指したいと思っています。



ゆたか希望の家  
副所長 あらかわ ともみつ 荒川 知満

私は2012年からゆたか希望の家で、パート職員として働き始めました。4年前にエリア職員となった時には、想像していませんでしたが、人事のお話を頂いた時には「エリア職員からでもそんなことがあるんだなあ」というのが正直なところでした。

今年度から副所長ということで、責任や仕事が増えると思いますが、マイペースで頑張っていきたいと思っています。



グループホーム 宝南の家  
副所長 まつお あきこ 松尾 陽子

グループホーム宝南の家に勤めて、3年目となりました。いろんな考え方や解釈の仕方を学びながら成長できたらと思います。

少し前ですが、大人気と騒がれている「鬼滅の刃」が気に入り、本屋を探し回って購入してしまいました。

現場は業務に追われる日々で、私自身、どうしてもあら探しをしてしまいがちになってしまう性格なので、グループホーム宝南の家のプチ自慢を沢山できるような、いい事探しに力を入れたいと思っています。



ゆたか生活支援事業所みなみ  
副所長 すぎもと まさあき 杉本 雅明

この度、事業所みなみの副所長となりました杉本です。入職し、第2 ゆたか希望の家やグループホームエールで仕事をしていく中で、自分が管理職になるイメージは全くありませんでした。

これまでお世話になった所長、副所長のように自分になれるのか、自信は全くありません。他の職員に支えてもらいながら、働きやすい環境、仲間が幸せに暮らせる場を作っていけたらと思います。未熟者ではありますが、一生懸命頑張りたいと思っています。

# 北名古屋市で

# 映画「星に語りて」を上映しよう 2・27に試写会開催！



昨年4月の全職員集会で、東日本大震災をテーマにしたこの映画を観て、「この映画を地域でもたくさんの方に観てもらいたい」と思いました。各地で上映会が開催される中で「北名古屋市内でも上映会を開催しよう」と検討が始まりました。そして映画を上映するだけでなく、そこから防災に向けての意識の高まりや、実際に災害が起きた時に「地域の中で

どうしたらよいか」を共に考えられるような上映会にしたいと考えました。

上映会にあたっては、行政や社会福祉協会、関係団体にご協力を頂きたいと思いましたが、事前に「地域の中で上映会を行いたい」という趣旨を説明し、社会福祉協議会の会議室をお借りしての試写会となりました。

当日は北名古屋市の福祉課、社会福祉協議会の方をはじめ、防災ボランティアや地域のボランティア、地域の事業所の方など20名ほどの参加をいただきました。

その場で感想を伺うことはできませんでしたが、後日「地域の人に観てもらえるといいね」といった感想や、防災ボランティアの会議で、「災害時に、高齢者も障害のある人も誰も取り残さず避難できるようにしていこう」ということが話し合われたと伺いました。

試写会の翌日、毎年運動会を一緒に行っている地域の3施設との合同研修の中でも、映画を観ました。鑑賞後の意見交流の中では、「いざという時に何が自分たちでできるのか考えさせられた」「地域とのつながりの大切さを感じた」などの意見が出されました。

このまま雰囲気盛り上げ、上映会につなげていこうと思っていたのですが、コロナウイルスの流行が始まり、今はその動きが止まってしまいました。まだ会場も確保できておらず、上映会がどの時点までできるのか全く見通しが持てませんが、この状況が終息したらぜひ地域の皆さんにこの映画を見ていただき、ともにいざという時に備えて考えていくきっかけを作っていきたいと思えます。

あかつき共同作業所 源平 由佳



3月

日誌

- 21日(土) 理事会
- 24日(火) 評議員会
- 25日(水) 所長会議



一般寄附(3月)  
学校法人明星学園 明星幼稚園

賛助会員新規加入者・  
更新者(芳名一覧)

(3月12日～4月6日手続き分)

順不同敬称略

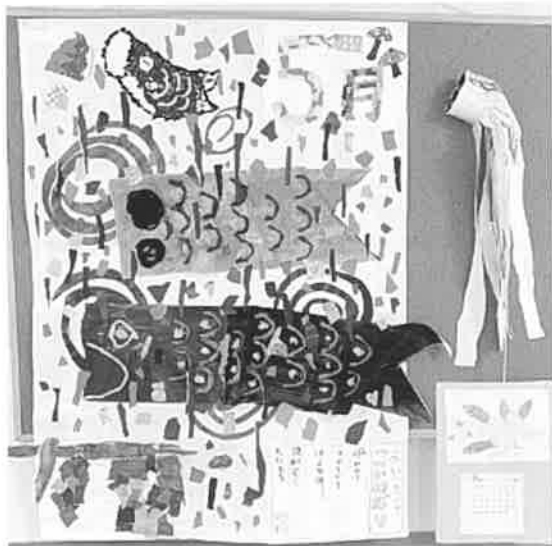
山本 幸人  
丸山 了治  
安斎 きみ子



※利用者・保護者・職員の皆さんからも多くのご寄附をいただきました。

ありがとうございました

「雨ぬれて かぜをひき  
はよ 帰って 焼酎 ごくり あったまる」



きょうどう制作  
ゆたか作業所  
生活介護 デイのみんな

こいのぼりが雨の中を泳いでいます。いろんなイメージを浮かべながら、いろんな個性が集まって仕上がりました。ひろがる自由な表現を、多様なイメージやストーリーで見てください。広報の表紙は2回目で、デイのみんな喜んでます。発表の機会を頂きありがとうございます。去年は他の作品ですが地域の作品展にも出展しました。

デイでは、月木の午前に創作活動に取り組んでいます。なぐり描き、色塗り、ちぎり、貼り絵、アイデア、構図や題名や詩を考えるなどなど、みんなひとりひとりの得意なことをつなぎあわせて、きょうどうで一つの作品に仕上げています。



広報・448号

2020年5月号(2020年5月10日発行)  
定価1部100円  
法人協力会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます

発行・編集 / 社会福祉法人ゆたか福祉会  
印刷 / 株式会社東海共同印刷

法人協力会費・賛助会費・寄附金など福祉会への申し込み、ご送金は

法人協力会費 = 年間1口 6,000円、  
賛助会員(個人1口 3,000円、企業団体等1口 5,000円)

●銀行口座 名義はいずれも社会福祉法人ゆたか福祉会

- ・三菱UFJ銀行 柴田支店 普通預金 291-884
- ・中京銀行 鳴海支店 普通預金 150-425

●郵便振替口座 00820-8-54026 社会福祉法人ゆたか福祉会

仲間



「経験を広げ 楽しみをゆたかに」

つゆはし作業所 高田 竜伍さん

高田さんは幼少期を岡山で過ごし、28歳の時に名古屋へ転居されました。現在はお母さんとの2人暮らしです。

つゆはし作業所の利用は2009年からですが、それまでも何ヶ所かの施設入所を経験された高田さん。お母さんは「つゆはし作業所と出会えた事、仕事に携わることができた事、支援をして下さっている職員さんに感謝です」と語られます。

入所して11年目。その間には仲間や職員との出会いや別れなども沢山あったと思います。作業所から帰ると、毎日仏壇に手を合わせる優しい姿があります。

作業所では「なかよし班」に所属し、午前は下請けや自主製品の生産活動、午後からはレクリエーションに取り組んでいます。

仕事では仕上げに近い工程を担い、仲間への目配りもでき、



仲間のみんなと生産作業に取り組む高田さん

自然とみんなのまとめ役にもなっています。レクリエーション活動の一番のお気に入りはおラオケ。十八番は「酒よ」や「紬の女」で、他の仲間たちが聞きほれるほどの力強い歌声を披露されます。

今年度の係活動では保健係に挑戦。朝の会での仲間への呼びかけや、館内放送を利用した昼休みの歯磨きの呼びかけも、丁寧な話し方で取り組んでいます。

仲間のことや、職員のことをいつも気にかけてくれる高田さん。作業所での生活を、もっと楽しめるようにしていきたいと思っています。

職員



「考えることが たくさんある毎日は充実！」

あかつき共同作業所 畠山 麻衣

作業所には、3つの現場があり、私はパン・クッキーを製造

している現場に所属しています。昨年の4月に入職し、一年が経ちました。未だに分からない仕事があり、覚えることもたくさんありますが、困ったときは仲間へ教えてもらい、助けてもらいながら毎日を過ごしています。

仲間に対しての対応や接し方が分からない時には、周りの職員さんの真似をすることで始め、少しずつ仲間との関係も築くことができました。「仲間は今、こんな思いを持っているのかな」「こう考えているのではないか」と考えるようになったことで、仲間たちに対する声かけの仕方も変わり、距離も縮まった気がします。

毎日いろいろな出来事があり、「何でだろう」「どうしたらいいだろうか」と考えることもたくさんありますが、そんな毎日がとても充実していて楽しいです。

私が所属している班では現在、



楽しんでます！  
(2019年度3施設合同運動会)

バケット生地を使った新商品の開発に取り組んでいます。試作を始めた頃は失敗も多く、なかなかうまく進みませんでした。失敗も仲間たちと共有し、「なぜダメだったのか」について話し合いを行うことで、少しずつ問題を解決してきました。試作が上手くできた時には全員で喜び、その仲間たちの姿を見るのも好きな瞬間です。

何も正解のないスタート地点から、仲間と一緒に新しいことを進める機会は、とても貴重だと思えます。試行錯誤しながらも楽しんで、仲間たちと販売に向けて取り組んでいけたらいいなと思っています。